

原爆の惨禍を描く— 丸木位里・丸木俊と 「原爆の図」

人類の歴史のなかで、絵画は忘れてはいけない記憶を伝える役割を果たしてきました。
共同制作で「原爆の図」を描いた丸木位里、丸木俊は、どのような画家だったのか。
現代の社会につながる問題として、その仕事を読みなおします。



講演者

岡村 幸宣

原爆の図丸木美術館・学芸員

略歴：

2001年に原爆の図丸木美術館初の学芸員となり、丸木位里・丸木俊夫妻を中心に社会と芸術表現の関わりについての研究、展覧会の企画などを行う。

著書：

『非核芸術案内—核はどう描かれてきたか』(岩波書店)

『「原爆の図」のある美術館—丸木位里、丸木俊の世界を伝える』(岩波書店)

『「原爆の図」全国巡回：占領下、100万人が観た!!』(新宿書房)

『未来へ—原爆の図丸木美術館学芸員日誌2011・2016』(新宿書房)

司 会 **吉見 かおる** (名古屋外国語大学 現代国際学部現代英語学科 准教授)

コーディネーター **長畑 明利** (名古屋外国語大学 世界教養学部 世界教養学科 教授)

丸木位里、丸木俊夫妻の「原爆の図」連作を展示する「原爆の図丸木美術館」の学芸員を務める岡村幸宣氏を招いて、丸木位里、丸木俊夫妻と「原爆の図」制作および公開の歴史、社会と芸術表現の関わり、戦後の原爆表象のあり方などについて、ご自身の経験をまじえ、ひろく語っていただく。

日 時

2025年 **10月28日** 火
15:00~16:30

種 別

講演会

会 場

名古屋外国語大学
日進キャンパス／701教室
愛知県日進市岩崎町竹ノ山57

共 催

名古屋外国語大学世界教養学科
ワールドリベラルアーツセンター

対 象

本学学生、本学教職員、一般

定 員

110名

応募締切

10月24日(金) 15:00まで

※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。

申込方法

準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んでいただくか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申し込みフォームに必要事項を入力、送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/20251028>

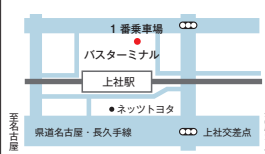
参加費無料
要申込み



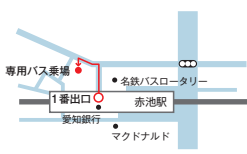
本学へのアクセスについて

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。

■ 上社駅乗車場案内



■ 赤池駅乗車場案内



イベントの開催にあたって

◎本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。イベント中は記録用として撮影を行います。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。

問い合わせ先

名古屋外国語大学
世界教養学科
TEL:0561-75-1759(直通)
E-mail:
sekkyo_assistant_gg@nufs.ac.jp